


R 3 東京外環整備効果検討業務

報 告 書

令和5年3月

 パシフィックコンサルタンツ株式会社

全体目次

1. 業務概要.....	1-1
1.1 業務目的.....	1-1
1.2 業務委託の概要.....	1-1
1.3 業務履行範囲.....	1-2
1.4 業務項目・数量.....	1-3
1.5 業務フロー.....	1-4
1.6 業務内容.....	1-5
1.6.1 計画準備.....	1-5
1.6.2 将来交通量の推計.....	1-5
1.6.3 整備効果の検討.....	1-5
1.6.4 説明資料の作成及び空撮.....	1-6
1.6.5 報告書作成.....	1-6
2. 将来交通量の推計.....	2-1
2.1 交通量配分手法の整理.....	2-1
2.2 交通量配分データの作成.....	2-7
2.3 交通量配分.....	2-60
3. 整備効果の検討.....	3-1
3.1 費用便益分析.....	3-1
3.1.1 便益算定条件.....	3-1
3.1.2 便益の算定.....	3-4
3.1.3 費用の算定.....	3-14
3.1.4 費用便益分析の実施.....	3-16
3.2 広域的視点に関する現状把握.....	3-17
3.2.1 都心部の交通状況.....	3-17
3.2.2 都心部の通過交通状況.....	3-26
3.2.3 京浜港から背後圏への交通状況.....	3-45
3.2.4 羽田空港の状況.....	3-47
3.2.5 発災時の現状.....	3-50
3.3 地域的視点に関する現状把握.....	3-52
3.3.1 環八の交通状況.....	3-52
3.3.2 IC カバー圏域.....	3-62
3.3.3 沿線地域の抜け道・事故状況.....	3-65
3.3.4 観光施設へのアクセス状況.....	3-67
3.3.5 救急搬送の現状.....	3-68
3.3.6 環八周辺のバスの現状.....	3-70
3.4 コロナ禍の社会情勢の変化.....	3-72
3.4.1 物流.....	3-72

3.4.2	周辺高速道路の交通状況	3-78
3.5	広域的視点に関する整備効果	3-79
3.5.1	放射軸間のアクセス向上	3-79
3.5.2	京浜港から背後圏へのアクセス向上	3-82
3.3.3	羽田空港から背後圏へのアクセス向上	3-85
3.5.4	発災時の代替路形成	3-86
3.6	地域的視点に関する整備効果	3-88
3.6.1	観光施設へのアクセス向上	3-88
3.6.2	救急医療への支援	3-89
3.6.3	環八周辺のバスの定時性向上	3-90
3.6.4	沿線の小中学校の校外学習の支援	3-91
3.6.5	動物園事業の振興	3-93
3.7	ヒアリング調査	3-94
3.7.1	ヒアリング調査の位置づけ	3-94
3.7.2	ヒアリング調査箇所の選定	3-95
3.7.3	設問内容	3-97
3.7.4	ヒアリング調査結果	3-152
4.	説明資料の作成及び空撮	4-1
4.1	作成の概要	4-1
4.2	整理結果	4-2
4.2.1	外環(関越～東名)整備効果資料(案)	4-2
4.2.2	沿線区市の整備効果資料(案)	4-43
4.3	無人航空機による空撮	4-54
4.3.1	空撮場所	4-54
4.3.2	空撮実施日	4-55
4.3.3	空撮方法	4-55
4.3.4	空撮結果	4-62

目次

1. 業務概要.....	1-1
1.1 業務目的.....	1-1
1.2 業務委託の概要.....	1-1
1.3 業務履行範囲.....	1-2
1.4 業務項目・数量.....	1-3
1.5 業務フロー.....	1-4
1.6 業務内容.....	1-5
1.6.1 計画準備.....	1-5
1.6.2 将来交通量の推計.....	1-5
1.6.3 整備効果の検討.....	1-5
1.6.4 説明資料の作成及び空撮.....	1-6
1.6.5 報告書作成.....	1-6

1. 業務概要

1.1 業務目的

本業務は、分析手法や交通網等の最新知見を踏まえ、東京外かく環状道路（関越～東名）の整備による交通の変化を検討するとともに、本事業の整備効果を整理し、その結果等のわかりやすく透明性の高い説明資料の作成を行うものである。

1.2 業務委託の概要

業務委託の概要は以下の表に示すとおりである。

表 1.2-1 業務委託概要

業務名	R 3 東京外環整備効果検討業務
履行範囲	東京外かく環状道路（関越～東名）
履行期間	令和4年2月22日～令和5年3月10日
発注者	国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所
受注者	パシフィックコンサルタンツ株式会社

1.3 業務履行範囲

本業務の履行範囲は、以下の図に示すとおりである。



[JCT・ICは仮称・開通区間は除く]

図 1.3-1 本業務履行範囲

出典：国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 HP

1.4 業務項目・数量

本業務の業務項目・数量は、以下の表に示すとおりである。

表 1.4-1 業務項目・数量

項目	数量	備考
計画準備	1 式	
将来交通量の推計	1 式	
整備効果の検討	1 式	
説明資料の作成及び空撮	1 式	
報告書作成	1 式	
打合せ協議	5 回	※その他、適宜実施

1.5 業務フロー

本業務の検討フローは、以下の図に示すとおりである。

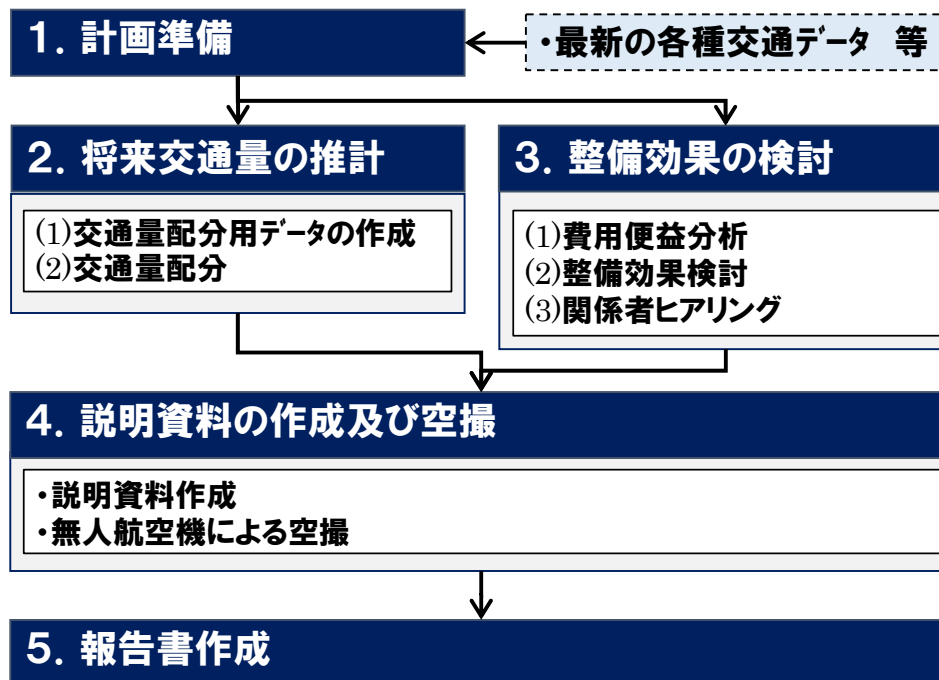


図 1.5-1 業務フロー

1.6 業務内容

本業務の各検討項目の内容を以下に示す。

1.6.1 計画準備

本業務の目的・趣旨を把握した上で、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。

また、無人航空機（ドローン）による空撮のために必要な作業計画書の作成、関係官庁その他に対する諸手続及び撮影場所への許可申請は、受注者が行うものとする。

1.6.2 将来交通量の推計

最新の道路交通センサスに基づいて交通量配分用データを作成し、東京外かく環状道路（関越～東名）の整備の有無に加え、想定される周辺道路の整備状況を踏まえた様々なケースにおいて、交通量配分を実施する。

なお、推計に係るデータはその条件等も含め電子データで提出するものとし、詳細については調査職員と協議するものとする。

1.6.3 整備効果の検討

1.6.2 の将来交通量の推計結果に基づき、東京外かく環状道路（関越～東名）の整備ありと整備なしの配分結果等を用いて費用便益分析を行うものとする。

また、将来交通量の推計結果や最新の交通データや知見に基づき、現況の課題分析及び整備効果の整理を行うものとする。

なお、整備効果に係るデータはその条件等も含め電子データで提出するものとし、詳細については調査職員と協議するものとする。

さらに、より訴求力のある整備効果を検討するため、必要なヒアリングについて実施する。

なお、ヒアリング先は12箇所とする。

1.6.4 説明資料の作成及び空撮

上記1.6.2と1.6.3でとりまとめた整備効果等について、その内容を分かり易く説明するための資料を作成するものとし、詳細については調査職員と協議するものとする。

さらに、対外的な説明にあたり事業の進捗状況を把握するため、事業区間内の各地域において、無人航空機（ドローン）による空撮を実施する。

なお、実施時期は10月頃と1月頃の2回を見込んでいる。

また、撮影箇所は施工中の事業ヤード内であり、作業時の制約等について施工業者との調整が必要となるため、事前に現地調査を実施するものとし、現地条件の変化等に変更が生じる場合には、調査職員と協議するものとする。

1.6.5 報告書作成

本業務の報告書を作成するものとする。なお、提出する詳細なデータの内容及び提出方法については、調査職員と協議するものとする。